

ふるさとひょうご寄附金で 被災地支援を 応援する

ひょうご被災地応援
プロジェクト
(PROJECT No.3)

聞けることもあるのかもしれない。

よそのものだからこそ

在宅避難しているお年寄りに、家は残ったけど
さみしさをどうしたらいいかわからないって言われて。

在宅避難のお年の
ニーズの
潜在化

終わりが無い。

被災地支援ってやってみたいと
わからないことばかりで。

畳って水を吸ったらこんなにも重いのかって。

川崎 凌平さん

杉山 紗也乃さん

みなさまからの寄附金を活用して

全国各地で災害が起こった際に被災地に駆けつけたり、
継続して被災地を支援している団体を応援しています。

その団体のうちのひとつ、神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti。「一通り街はきれいになっても、家での思い出とか気持ちの整理がつかないままだったりする。だから継続的に支援したい」という思いで活動を続けているという。「東北の時など、頻繁に泥かきにはいけない。それでも一軒一軒回って話を聞いたり、できる

支援はあるんだなど。やってみてわかったことはたくさんあります。

兵庫県では社会全体で被災地を支援する環境をつくるため、被災地の復旧・復興活動を継続的に行う若者団体や、大規模災害時に被災地ボランティア活動を行う団体を応援しています。



実際の活動の様子



ふるさとひょうご寄附金についてはこちらをご覧ください。

「ひょうご被災地応援プロジェクト」への寄附には2種類のメニューがあります。

- 大規模災害ボランティア活動応援プロジェクト
- ひょうご若者被災地応援プロジェクト

みなさまからの寄附金でこれまで122件(令和3年度末時点)の活動の支援ができました。

兵庫県のこんな取組みを応援ください。